学校番号	3021

令和２年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽１　（教育芸術社）						
副教材等	ベートーヴェン「歓喜の歌」（ハンナ社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本格的な芸術作品に触れ、挑戦する機会を持ち、高校時代に芸術に対する素養を身につけることを、教科の課題としています。

茨木高校音楽会は、１年間の授業の成果を発表する演奏会として毎年３月に開催しています。音楽会の企画・運営の中心は２年生の生徒が担い、１年生の生徒と共に運営をしていきます。

クラス合唱は、各クラスで選曲や指揮者・伴奏者を話し合いで決めて、練習スケジュールを立てて、クラス代表やパートリーダーを中心に、生徒が主体となって進めていきます。自分たちの目標を設定し、自主的に授業に取り組んでいく中で、リーダーシップやフォロワーシップの経験を積み、クラスがまとまって一つのものを創り上げていく過程で、主体性や協調性、責任感や使命感などを身につけることが目標です。

本格的な芸術作品については、毎年ベートーヴェンの『第九』に取り組んでいます。高校生がクラシック音楽の最高峰とされる難曲『第九』を、原曲の調性、ドイツ語で演奏することは、文字通り「挑戦」と言える課題ですが、２年間かけて勉強していきたいと考えています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 プリント	観察 プリント	演奏の聴取 提出作品	観察 プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2年 前期	アンサンブルの響きを味わおう ～器楽曲を中心に～	【器楽】　ギター Happy Birthday to You 他	○	○	○		a: 自ら進んでさまざまな楽器の演奏に取り組もうとしている ・ 互いに協力し合って音楽をつくり上げようとしている b: 楽器の音色や響きの特徴を感じ取り，そのよさを生かした表現を工夫している c: 音量やアーティキュレーションなどに留意しながら，調和のとれたアンサンブルをしている	観察 演奏の聴取 プリント
2年後期	アンサンブルの響きを味わおう ～合唱曲を中心に～	【歌唱】 ～音楽会に向けて～ クラス合唱(混声4部) クラスごとに課題曲1曲・自由曲1曲を決定 交響曲第九番「合唱付」より第4楽章 (ベートーヴェン)	○	○	○	○	a: アンサンブルのよさを体感しようとしている ・ 互いに協力し合って音楽をつくり上げようとしている b: ・ 合唱のよさを感じ取っている ・ 各パートの特徴や役割を理解している c: 曲にふさわしい発声の仕方で表現している ・ パート間のバランスなどに注意して表現している d: さまざまな合唱の形態を理解し，それぞれの響きや曲の雰囲気の違いを感じ取って聴いている	観察 演奏の聴取 プリント

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。